

特集

この本と私



「かもめのジョナサン」

リチャード・バック 著

私が社会に飛び立って二、三年後のことです。映画館という名の建物が増えて、劇場映画、総天然色、シネマ、ハリウッド等文化の香り高い事があふれていた時代でした。その頃に映画になり、本が出版され、テレビで取り上げられたり芸能ニュースで報道されたり、とても有名な読み物でした。有名過ぎて手を出さなかった本です。当時から素直ではない性格だったようです。かもめのジョナサンも一風変わった性格と才能を備えていたようです。我慢強く、一生懸命に、美しくはやく「飛ぶ」ことを求めていく。困難を乗り越えて、いろいろな工夫をこらし少しずつ成果をあげていきます。作者は飛行家であり、飛行術の表現は、大空を美しく舞う飛行機のように雄大なものを感じました。スピードの加速のしかたや翼の広げ方など飛行機を操縦しているようです。そして群れから追放されてもお自分の目標に向かって突き進んで高い飛行術を獲得していきます。part twoでは孤独なジョナサンに仲間ができてきます。より高度な飛び方を身につけて元の群れに帰ることを決心します。part three では、群れのカモメは仲間はずれにされたカモメに対して冷たい態度です。辛抱強く新しい「飛び方」を説いていく姿は、仲間を奮い立たせ次のリーダーを育てます。自由に飛ぶこと、そして愛することを伝えて次の世界へ旅立つジョナサンでした。

聰子



五木寛之 訳

新潮文庫

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞